

愛媛大学客員教授

一般財団法人土木研究センター常務理事

鳥居 謙一氏

地球温暖化による気候への影響が明らかになり、水災害の激甚化が現実となっています。これに対してすべての関係者の参加による流域治水の取り組みが各地で進められています。しかし「掛け声」だけでは流域治水の成果を上げることはできません。同じ道を進まぬように、これまでの治水を振り返り、流域治水を深く理解し、流域治水を実現するために我々に必要な覚悟を明らかにします。「温故知新」

【略歴】

1985年国土交通省(当時建設省)に入省。高知工事事務所調査課長、四国地方建設局河川計画課長、大洲河川国道事務所長、国土技術政策総合研究所海岸研究室長、河川研究部長などを歴任。2007年から2011年まで愛媛大学防災情報研究センターに勤務。2019年土木研究所研究調整監で国土交通省を退職。現在一般財団法人土木研究センター常務理事、愛媛大学客員教授、横浜国立大学非常勤講師、博士(工学)